

## 文京区補助金等チェックシート

所属 保健衛生部健康推進課

### 1 補助金の名称等

2年度調査

補助金の名称	がん患者ウィッグ購入費用助成								
根拠規定等	文京区がん患者ウィッグ購入費用助成事業実施要綱								
創設年月	令和	2	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	0年	終了予定年月	
直近の見直し年月			年		月	経過年数 〔自動計算〕			
見直しの内容									
予算科目	款	項	目	大事業	中事業	実施計画事業番号			
	06 衛生費	01 保健衛生費	03 保健予防事業費	11 がん検診	09 がん対策関係費				
補助金の種別	<input type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input checked="" type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給								

### 2 補助金の概要

補助目的	がん患者に対し、ウィッグの購入費用の一部を助成することにより、治療に伴う脱毛等の外見変化が及ぼす精神的苦痛の軽減及び経済的負担の軽減を図る。							
補助事業等の内容	(1) 対象者 文京区在住でがんと診断され治療を行い、ウィッグを購入した日から1年以内の方 (2) 助成金額 ウィッグ購入費用(上限3万円、または購入経費の5割のうち、いずれか低い額) 1人1回							
補助対象経費の内容	がんと診断され治療を行い、抗がん剤の副作用による脱毛のために購入するウィッグの費用							
補助事業者等	<input checked="" type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input checked="" type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他							
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕							
補助金の算出	<input checked="" type="checkbox"/> 定率〔補助率 1/2(上限あり)〕 <input type="checkbox"/> 定額〔補助額〕							
	<input type="checkbox"/> 補助単価〔補助単価 単位〕 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	〔その他の場合は具体的に記入〕 上限3万円 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕 一般的な購入自己負担額 3万程度～10万円以上であることから、購入額の5割、上限を3万円とする。							
公募の状況	ホームページ、区報、ポスター、チラシにより周知する							
実績報告書時における 用途の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input type="checkbox"/> その他〔 〕							
補助・単独の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 区単独	負担割合	区	1/2	国	都	補助対象者	1/2
	<input type="checkbox"/> 補助(区上乘せ無し)	上乘せの内容・理由						
<input type="checkbox"/> 補助(区上乘せ有り)								

3 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	がん患者への支援が注目されている社会情勢のニーズに適合する。
	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	がん患者等の地域生活に向けた支援の推進に適合する。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	がん患者やその家族が、がんと向き合って自分らしく暮らしていく支援となる。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	がん患者への具体的な支援がない。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	ホームページなどで、広く周知する。
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	交付要綱に基づき、要件を審査の上、適正に決定する。
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	治療状況に応じて、必要なものが異なることから、補助金の交付が適している。
	補助金の交付による効果が認められるか	○	経済的負担が軽くなることで、社会復帰等への契機となる。
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	購入費用の一部が助成され、本人の負担が軽減される。
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	がん治療に係る副作用への対策費用の助成は、がん患者が自分らしく安心した地域生活を送るための支援となるため、広く区民に還元されるものである。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	-	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	-	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	-	

4 交付実績

(件、千円)

項目	2年度(予算)			
交付(見込み)件数	100			
決算(予算)額	3,000			
国庫支出金	0			
都支出金	0			
その他	0			
一般財源	3,000			
1年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)				

5 課題及び今後の方向性

令和2年3月要綱作成、令和2年5月募集開始